

県南保健所感染症情報

令和6年 第 42 週

令和6年10月14日 ~ 令和6年10月20日

【発行元】長崎県県南保健所 地域保健課 TEL:0957-62-3289

◇◇定点把握の対象となる5類感染症 発生状況◇◇ (定点当たり患者数)

定点	疾病名	週別 発生状況				国・県・県南 発生状況				基準値						
		県南保健所				第 42 週				警報レベル		注 意 報 レ ベル				
		40 週	41 週	42 週		全国	長崎県	県南保健所		開始	終息					
	インフルエンザ定点	0.50		0.75	1.50		0.73		1.23		1.50		30	10	10	
	COVID-19	1.13		0.75	0.38		1.86		0.87		0.38					
小 児 科 定 点	RSウイルス感染症	0.40		0.20	0.20		0.25		0.05		0.20					
	咽頭結膜熱	0.40		0.00	0.20		0.19		0.16		0.20		3	1		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11.20	警報	9.80	警報	10.80	警報	1.70		2.45		10.80	警報	8	4	
	感染性胃腸炎	0.60		0.40	0.20		2.29		1.23		0.20		20	12		
	水痘	0.80		0.00	0.20		0.14		0.09		0.20		2	1	1	
	手足口病	7.60	警報	7.60	警報	1.40		9.37	警報	3.84	警報	1.40		5	2	
	伝染性紅斑(リンゴ病)	0.00		0.00	0.00		0.33		0.11		0.00		2	1		
	突発性発しん	0.00		0.00	0.00		0.24		0.30		0.00					
	ヘルパンギーナ	0.00		0.00	0.00		0.26		0.48		0.00		6	2		
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.00		0.00	0.00		0.04		0.02		0.00		6	2	3	
眼 科 定 点	急性出血性結膜炎	0.00		1.00	警報	0.00		0.01		0.00		0.00	1	0.1		
	流行性角結膜炎	1.00		4.00		1.00		0.38		0.38		1.00	8	4		
基 幹 定 点	細菌性髄膜炎	0.00		0.00	0.00		0.01		0.00		0.00					
	無菌性髄膜炎	0.00		0.00	0.00		0.04		0.00		0.00					
	マイコプラズマ肺炎	0.00		0.00	0.00		2.01		1.75		0.00					
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	0.00		0.00	0.00		0.01		0.00		0.00					
	感染性胃腸炎(ロタウイルスであるものに限る)	0.00		0.00	0.00		0.00		0.00		0.00					

◇◇全数把握対象感染症 発生状況◇◇

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	【第41週】急性脳炎 患者1名(60代・男性) 【第42週】劇症型溶血性レンサ球菌感染症 患者1名(50代・女性)

◇◇トピックス・季節情報◇◇

☆季節性インフルエンザに注意しましょう

第41週の長崎県におけるインフルエンザの流行入りに続き、県南保健所管内も第42週の定点医療機関あたりの報告数がインフルエンザ流行の目安である「1.00」を超えました。

感染予防対策としては、マスクは鼻と口にしっかりフィットさせた状態で着用しましょう。くしゃみや咳だけでなく、普段の会話でも飛沫(しぶき)が飛びます。食事などのマスクを外す場面以外では可能な限りマスクを着用することを推奨します。人は無意識に顔を触ることが多く、気づかないうちに鼻や口などの粘膜にウイルスをつけてしまいます。マスクの着用や手洗いを徹底しましょう。手洗いがすぐにできない場合は、アルコールを使った手指消毒も効果的です。日頃からバランスの良い食事や十分な休養をとり、体調を整えることも大切です。換気は1時間に2回以上が効果的です。必ずしも窓を開けての換気が必要なわけではありません。換気扇などの機械設備を活用し、効果的な換気を心がけましょう。

☆劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)とは

溶血性レンサ球菌(いわゆる溶連菌)は、一般的には急性咽頭炎などを引き起こす細菌ですが、稀に引き起こされることがある重篤な病状として、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)が知られています。

STSSの初期症状は咽頭痛、発熱、消化管症状(食欲不振、吐き気、嘔吐、下痢)、全身倦怠感、血圧低下などの敗血症症状、筋痛などですが、明らかな前駆症状がない場合もあります。その後の症状としては軟部組織病変、循環不全、呼吸不全、血液凝固異常(DIC)、肝不全や腎不全など多臓器不全を来し、日常生活を営む状態から24時間以内に多臓器不全が完結する程度の進行を示します。A群レンサ球菌等による軟部組織炎、壊死性筋膜炎、上気道炎・肺炎、産褥熱は致命的となりうる疾患です。